

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2012年度 第3号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

● クリ「ぼろたん」の弁当でおもてなし！



去る9月29日及び10月13日から開催された「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」の開会式弁当に、当研究所がこれまで国体に向けた地域ブランド開発事業として研究に取り組んできた「ぼろたん」が使用されました。岐阜のブランド栗として、来県された国体関係者や選手にPRすることができ皆様から好評価をいただきました。この国体を契機に、地元クリ産地がますます活性化することを期待しています



「ぼろたん」収穫の様子



国体開会式弁当

● 試験研究中間検討会を開催

試験研究の進捗状況を広く知っていただくための中間検討会を本所（8月24日）と支所（8月28日）で行いました。

当日は、地元生産者を中心にJAや県行政関係者等から多くの（本所69名、支所85名）の参加があり、研究員による概要説明の後、各作目分野のグループに分かれ、ほ場にて活発な意見交換を行いました。

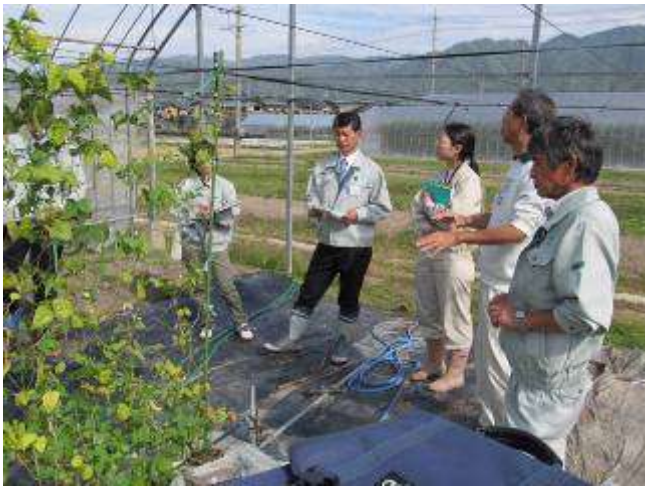
そこでいただいたご意見は今後の試験研究に活かしてまいります。



ほ場での中間検討会の様子（支所）

● 地元自治体との共同研究進捗説明会を実施

本所の所在地である飛騨市は、飛騨地域でも有数の豪雪地帯を擁している他、標高差が激しく、転換畑が多いなどの特徴があります。本年度から本所では飛騨市と連携し、地元の気象環境条件に適した品目や作型を開発する研究を開始し、ブロッコリー、アスパラガス、マメ科植物の独立袋栽培などについて検討しています。去る10月17日には飛騨市の農政担当職員の参加のもと生育中の作物を前に屋外説明会を開催したところ、担当者からは熱心な質問が寄せられるなど、有意義な意見交換ができました。今後も地元の意向を尊重しながら、新作型や新品目の技術確立に努めてゆきます。



マメ科作物の袋栽培



ブロッコリーの栽培試験

● 国内最大の食品素材展にエゴマ商品出展

10月3日から5日にかけて東京ビッグサイトで開催された「食品開発展2012」において、当所で行っているエゴマ関連の商品や研究成果の展示をアルプス薬品工業株式会社と合同で行いました。展示ブースには3日間で計1000名以上の来場者が訪れ、多くの方にPRすることができました。エゴマに対する認知度はまだまだ低いものの、健康志向の方には周知されている印象もあり、今後エゴマの機能性や商品の将来性に、より高い関心が集まることが期待されます。



エゴマの展示ブース